

令和5年第3四半期（1月から9月まで）の火災状況について（簡易版）

★火災件数は3,182件でした（前年より298件増加）。

★火災による死者は67人（前年より2人増加）で、そのうち65歳以上の高齢者は42人でした。

★火災による負傷者は566人（前年より30人増加）で、そのうち65歳以上の高齢者は173人（前年より2人減少）でした。

★主な出火原因の上位3位は、「たばこ」が489件と最も多く、次いで「放火（疑い含む）」が455件、「ガステーブル等」が279件でした。

～令和5年第3四半期（1月から9月まで）の火災の特徴について～

★住宅火災は1,220件発生し、前年同期の1,158件より62件増加しており、最近5年間では最も多い。

★住宅火災の主な出火原因別件数をみると、上位から「ガステーブル等」、「たばこ」、「放火（疑い含む）」、「電気ストーブ」の順となっている。

★住宅火災の出火場所別件数をみると、居住関係で発生した火災が974件となっており、全体の約8割を占める。